

ハーモニー premium

9月

2025.9.2 発行

日	曜	9月の行事予定	給食
1	月	2学期始業式, 避難訓練, ②学, ③④実力テスト⑤学, 職員会議	○
2	火	①~③実力テスト, ④学, ⑤⑥総, 第4回北中祭実行委員会	○
3	水	45分日課, 水の①~④, ⑤⑥総, 第5回北中祭実行委員会	○
4	木	45分金曜日課, 清掃なし, 会場準備, 学, 総, 午後リハーサル	○
5	金	木曜日課午前北中祭, ⑤片付け, 清掃, 学活	○
6	土		
7	日		
8	月	ALT来校	○
9	火		○
10	水	ノ一部活デー, 質問教室	○
11	木	ICT支援員来校	○
12	金	SC来校	○
13	土		
14	日		
15	月	敬老の日	
16	火		○
17	水	ノ一部活デー, 質問教室	○
18	木	職員会議	○
19	金	学校安全の日, SC来校	○
20	土		
21	日		
22	月	更衣移行期間開始(~10/11), ALT来校	○
23	火	秋分の日	
24	水	ノ一部活デー, 質問教室	○
25	木	生徒会専門委員会	○
26	金	SC来校	○
27	土		
28	日		
29	月		○
30	火	#30文化祭 おいしい給食 9月5日(金)上演	○

戦後80年の節目に寄せて

みなさんが今、自由に学び、友だちと笑い合い、未来を思い描けるのは、過去に多くの人々が平和を願い、努力してきたからです。80年以上前、戦争によって世界中で多くの命が失われ、街も人の心も深く傷つきました。でも、その悲しみの中から「二度と戦争を起こさない」「命を大切にする社会をつくる」という強い願いが生まれました。みなさんは、これからの時代をつくる世代です。だからこそ、過去を知り、今を考え、未来に責任を持つことが大切です。どうか、争いではなく対話を、憎しみではなく思いやりを、そして、自分の命も他人の命も、かけがえないものとして大切にしてください。平和は誰かがくれるものではなく、みんなで育てていくものです。その第一歩は、知ること、考えること、そして行動することです。もし教室で平和学習があるなら、ぜひ真剣に向き合ってください。あなたの言葉や行動が、次の100年の平和をつくる力になります。

舞台作品「南の島に雪が降る」

『南の島に雪が降る』は、戦争の中で「演劇が人を生かす力になる」ことを描いた、実話に基づく感動的な舞台作品です。

あらすじ

太平洋戦争末期、ニューギニアのマノクワリという戦地で、飢えとマラリアに苦しむ兵士たちがいました。俳優だった加東大介は、上官の命令で「演芸分隊」を立ち上げ、ジャングルの中に劇場を作ります。

あり合わせの布で衣装を作り、バナナの繊維や馬のしっぽでカツラを作るなど、創意工夫で舞台を完成。女形の白粉に女房を思い、小道具の長火鉢に故郷を重ねる兵士たち。兵士たちは、芝居を観ることで「生きる希望」を見出していきます。ある日、東北出身の兵士たちのために「雪が降る演出」を加えたところ、観客は歓喜するどころか静かに涙を流しました。重病の兵士が「もう一度、故郷の雪が見たかった」と紙吹雪を撫でる場面は、観る者の心を深く揺さぶります。

なぜ今も語り継がれるのか

この作品は、「芸術は命を支える」という普遍的なテーマで、戦争の悲惨さだけでなく、人間の尊厳と創造力を描いており、実話だからこそそのリアリティと感動があります。そして単なる歴史の再現ではなく、今を生きる私たちや戦争を知らない世代にも「生きるとは何か」「希望とは何か」を問いかけてくれます。戦争体験者が少なくなる今、劇は記憶を次世代に伝える手段になります。一人ひとりの人生に焦点を当てることで戦争の悲惨さがよりリアルに伝わり、絶望の中でも人間の強さや優しさが描かれることで、観客に希望を与えます。

中学最後の演劇に臨むみなさんへ

中学校生活の集大成として、舞台に命を吹き込むみなさんの姿が、観る人の心に『生きる力』を灯します。どうか舞台を通して、命の重みと、希望をつなぐ力を感じてください。そして、みなさん自身の言葉と演技で、未来へ平和のバトンを渡しましょう。

【10月の主な行事予定】

10/1(水) 3年生第1回基礎学力テスト, 10/3(金) 英語検定, 10/9(木) 中間テスト, 10/10(金) 県市合同訪問, 10/15(水) 1、3年生遠足, 10/16(木)~18(土) 2年生修学旅行(代休20(月)), 10/28(火) 英語能力判断テスト, 10/30(木) 3年生第7回実力テスト, 10/31(金) 中教研統一大会(生徒臨休)